

ICT活用により
市民と薬局・薬剤師とがつながり合うことができ、
身近に相談出来る地域社会を実現する新サービス

“Pharmatching”

チーム：Pharmatchingしておくれやす☆

発表者：森田 貴子（京都薬科大学 学生）

船戸 一晴（京都府薬剤師会、(株)ゆう薬局グループ取締役）



一般社団法人 京都府薬剤師会
Kyoto Pharmaceutical Association



京都市
CITY OF KYOTO

あなたにとって、 薬局・薬剤師の イメージは？

アンサンブシンドレラ 病院薬剤師 葵みどり
監修 荒井マサレ 監修原典 富野浩充
©荒井マサレ/NSP 2018



薬は病気を治すために使いますが、間違った使い方はかえって健康を悪くします。薬について気になることはなんでも、かかりつけ薬剤師・薬局にご相談下さい。

薬は正しく 使いましょう！

薬を飲んでいるのに、
体調が良くならない。
飲むのを
やめようかな？

いくつもの病院から
薬をもらっているけど、
「飲み合わせ」は
大丈夫かな？

市販薬を買って
治したいけど、
どれを選べば
いいんだろう？

健康食品を多く
食べているのに
かえって具合が悪い
みたい…どうして？

薬と健康の週間

令和元年10月17日(木)～23日(水)

厚生労働省/都道府県/日本薬剤師会及び都道府県薬剤師会

文部科学省/独立行政法人医薬品医療機器総合機構/日本製薬団体連合会/日本製薬工業協会/全日本医薬品登録販売者協会/全国配剤業協会/
日本漢方薬協会/日本配剤販売業協会/日本チャンドラッグストア協会/日本保険薬局協会/医薬・賞賛イリ利用防止センター

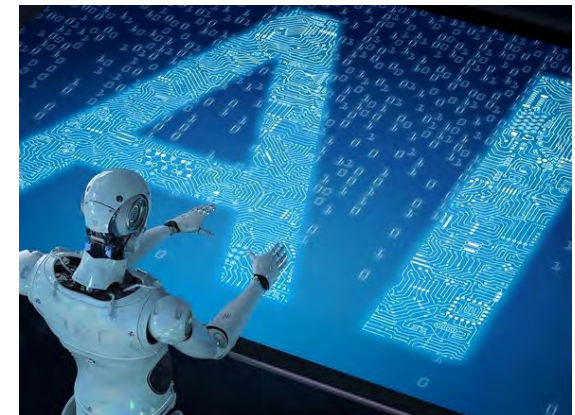
【出典】厚生労働省：令和元年度薬と健康の週間 啓発ポスター

市民が思う薬局・薬剤師って？

- 処方せんと薬の交換場所
(病院の後に行くところ)



- なんだか簡単な仕事のイメージ
(AIに取って代わられそうなの…)



薬局で...



地域で...



在宅で...



現場の薬剤師は、毎日のように
患者さんからの相談を受けています

研究・教育の町・京都発！

薬学生から提案する新サービスが
市民と薬剤師を繋ぎます

《サービス名》

“Pharmatching（ファーマッチング）”

Pharmatchingとは？

☑️ 位置情報での薬局検索

☑️ 薬剤師の特性検索

☑️ SNSによる相談機能



薬局	くえ薬局	
薬剤師名	仲村佐和子	
年齢	38	
勤務終了予定	19時まで	
電話番号	075-352-614	
専門資格	XXXXXXXX	
対応症状	腹痛	

コミュニケーション変化

薬局での 相談予約が可能！

対面

信頼する薬剤師さんから適切な
アドバイスが受けられる！

状態を見たいので
薬局へ来てください

ケアマネージャー
の●●さんに
伝えておきますね

この症状なら
明日でよいので
▲▲病院に行った
ほうがいいですよ

市販薬で一旦
様子を見ましょう

継続的に 健康サポート！

オン
ライン

生活習慣病予防など中期的に
皆さんの健康をサポート！



実現にいたるプロセスのポイント

- ☑ 人材募集について京都府薬剤師会が協力
- ☑ 専門家のバックアップは大学・職能団体と連携
- ☑ 2020年度にクラウドファンディング実施予定
- ☑ 2段階の広報発表を実施

⇒ 詳細はチラシ裏面をご覧ください

医務衛生課

薬学分野の
総合的フォロー

統計解析担当

議論に合わせた
データ紹介



薬学生



薬剤師



医師



市民チーム
へのサポート
と連携



ITエンジニア



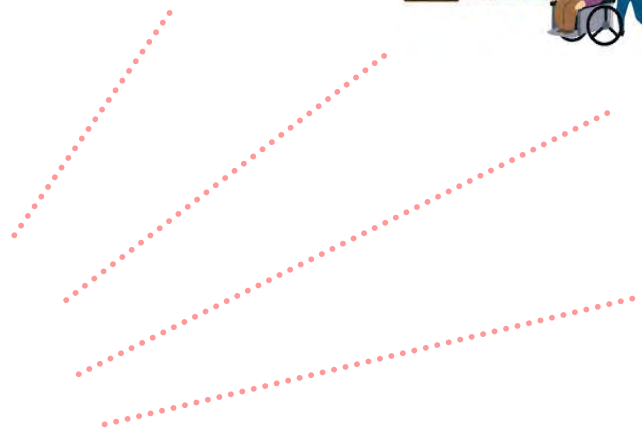
学生さんと
実務者の
橋渡し



市民協働推進担当



すぐに病院に頼る社会から…



そうだ、
薬剤師さんに
相談しよう。

Pharmatchingが促進します！



一般社団法人 京都府薬剤師会
Kyoto Pharmaceutical Association



京都市
CITY OF KYOTO